

平成27年度 男女平等参画推進月間写真コンテスト入賞作品

平成20年度から男女平等参画推進月間に合わせて男女平等参画社会の実現をイメージした写真コンテストを実施しています。

最優秀



頼れるイクメンパパ!増えてます
磯部 三枝子さん

優秀



がんばれ!
松田 千紘さん

優秀



主役交替
石井 英雄さん

佳作



大きなあれ!
和田 英子さん

佳作



スマイル
鈴木 大吾さん

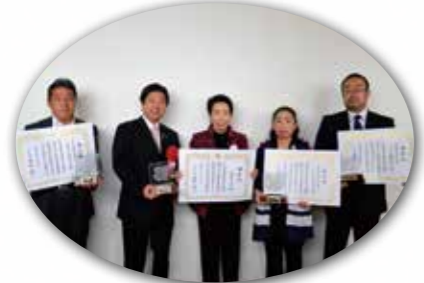
佳作



「毎日ありがとうございます。」
大沼 南輝さん

男女平等参画社会づくり功労賞の受賞者ご紹介

平成18年度に「男女平等参画社会づくり功労賞」を創設し、男女平等参画社会の実現に向けて、あらゆる分野において積極的な取組をしている個人や団体、事業所を表彰しています。



●個人の部

太田 元子さん

水戸女性フォーラムの会長を2期4年にわたり務め、女性の視点から市政に積極的に参加するという考えのもと提言集の発行、みと考問塾の開催、各種ボランティア活動を積極的に行っています。

●団体の部

水戸市女性防火クラブ連合会

女性の視点で、家庭や地域から火事を出さないことを目的とし、生命と財産を守るという使命感と誇りを持ち、ボランティア精神で地域に貢献しています。

●事業所の部

茨城交通株式会社

運転士不足が深刻化しているバス業界では、女性の雇用拡大は重要な課題と考え、積極的な採用に力を入れるとともに、勤務に対する配慮も行っています。

関東鉄道株式会社水戸営業所

女性のきめ細やかさを活かし、外国人旅行者のために女性通訳者を営業所独自で採用し、観光バスの添乗を行っています。また女性運転士の採用にも力を入れています。

開催報告

ヒューマンライフシンポジウム2015

くらす・はたらく・ささえあう ひとひと 女と男しなやかな心で

平成27年9月26日(土)、みと文化交流プラザ6階において、エッセイストで、俳優の奥田瑛二氏の妻、2人の娘の母でもある安藤和津さんをお招きし、仕事と家事・育児・介護のご経験からお話をいただきました。



講演

明日を素敵に生きるには
エッセイスト 安藤 和津さん



男性の自立について

夫婦関係の中で、データを見ますと、やっぱり男性の家庭内自立ができていないことが一番の問題ですね。親から、男が台所に入っては駄目と言われて育った男性たち。標語を作りました。「ちよっと待て、男はすぐには変わらない」。男の人が変わってもらうためには、じわりじわりと少しずつ変わってもらわなければならないのです。

夫の場合

私の夫も、最初は、ひどいことをやりました。何をやったかというと、台所にカレーが作ってありまして、翌日用にけんちん汁の具を刻んでおいたのですが、さてカレーを食べようと思ったら、中から、コンニャクやらゴボウやら、里芋やら出てきて、「どっだ、俺の特製カレー」と言われ

母の介護について

母の介護について
当時あまり認知症という言葉は一般的に語られていませんでしたけれども、認知症と老人性のうつ病、脳腫瘍の三つが一度にやってきました。病気がわかってからは、お出汁をこっくり取って、塩分控えめにしました。一か月ぐらい粗食生活を送ったのち、どうなったのかというヒステリーが起きなくなりました。食の字を分けて、食を分解すると、人を良くする。食べ物は人を良くする。自分の体に合ったいいものを食べるとバランスがとれます。認知症対策にも体重増加の防止にも食生活はとても大切なことの一つですから、ぜひ試してみてください。

生きていくためには

生きていくためには
人間に生まれたからには、男も女も幸せで生きていきたいなと思います。私の家にはリウマチで38年間寝たきりのおばあちゃんがいまして。そして脊椎力工で背中の中の曲がった状態の叔母と一緒に暮らしていて本当に家の中が暗かったです。でも今つくづく思うのは、私にとって一番大切なことを教えてくれたのは寝たきりのおばあちゃん。身障者の叔母でした。私は、健康な体で生まれてきました。かわいそうにという気持ちではなく、困ったことは助け合いましょうという気持ちで接したいという思いを覚えてくれたのはこの二人なのです。生きていくのは辛いことです。辛いことを一つ乗り越えたら、幸せという字になるんです。どんな深い海にも必ず底はあるんです。底まで来たなと思って、自分の足でポンと蹴ったら、上になれるのです。一つ乗り越える力を男も女も持つて人として明日を素敵に生きていけたならどんなにいいかなと思っています。



私にも出来る! 起業 ~ステップアップ編~ 10月30日(金)・11月5日(木)開催

「起業を考えているけれどどうしたらいいの」「実際に起業はしたけれどほかの人といろいろ情報交換をして、今後に活かしたい」という方のためのステップアップ編です。



結婚を機に水戸に来て12年。シェアオフィスSSS、子育てとはたらく!を応援するMama Revolutionの代表をしています。私がシェアオフィスSSSを立ち上げたきっかけは、少ない資金で起業ができ、会員同士で情報交換を気軽に行えるコミュニティの場を作りたいからでした。自分自身が楽しめることからスタートすると、起業につながります。女性だからといってあきらめないでチャレンジして欲しいです。

シェアオフィスSSS代表 松橋 裕子さん

最初はアジアの雑貨を多く扱っていましたが、今は輸入ビーズの販売ととんぼ玉の工房と教室をしています。ヨーロッパのビンテージビーズを中心にアメリカに買付けに行きます。ずっと一人でやっていますが、ただ販売するだけでなく、どんなものが好まれるのか、どうしたら売れるのかということを常に考えています。いい商品を本気で気に入ってくれるお客様と長くお付き合いしたいということは最初から変わっていません。



輸入ビーズ・とんぼ玉Ae-siaオーナー 北村 いづみさん



ドイツに留学して花のマイスターの資格を取得しました。自分のお店を持つまでに、最初は小さな場所から始めました。経営者として大変なこともあります。でも「逃げればピンチ、挑めばチャンス」のとおり、すごく嫌だと思ふ時は、すごく大事だと思っていることなんです。向き合わなければいけないとわかっているから、嫌だと思ふんですね。「成功の反対は失敗ではなく何もしないこと」という言葉もあります。真剣に話をすれば真剣に聞いて答えてくれる方はいます。だから、やれば何かは必ず学べます。

憧れ花のアトリエ ドイツフローリストマイスター 池田 誠子さん

ハンドメイドの作品を作家さんからお預かりして展示販売をしているお店です。11年になります。物を作るのってすごいなと思ったことと、そういう作品を作った方との出会いがあったらいいなと思って始めました。でも自分が作り手(作家)になろうとは、思いませんでした。なにもわからず始めましたが、中小企業振興公社などでいろんなアドバイスをいただきました。作家さんに、売り上げをお支払いするときには、買われたお客様の声をお伝えしています。



ハンドメイド雑貨 Aplaudo 代表 小路 裕子さん



私自身は、結婚して子育てをしながら、中小企業診断士の資格を取りました。皆さんもそれぞれ、いろんな創業分野があると思います。皆さんが自分の強みを持って始めようとするから成功するのだと思います。同じ業種でも、どこかが絶対違うはずなんです。差別化のポイントを自分がどこに置くか自分の強みをどう活かすのかで創業していただければ成功すると思います。いつでも御相談ください。

茨城県よろず支援拠点 サブコーディネーター 林 綾子さん

私も27歳で独立し、起業家の1人として、30年間いろいろとありました。今日までやってこれたのは、人の支えのおかげです。皆さんもたくさんのご縁を結んでくださいね。



特集

女性のための就業支援 ~起業編~

私にも出来る! プチ起業 10月8日(木)開催

「趣味や特技を、仕事にできるのかしら」「子育てしながらでもできるのかしら」そんな疑問にお答えし、起業について学ぶ入門編を開催しました。

「How To 起業?」

起業は、誰にでもできます。「三児の魂百までも」と言うように、小さいころに好きだったことは、大人になっても変わらない。好きだったことを「動詞化」して、仕事にするといいんです。起業とは、「〇〇することが好き」という〇〇の部分の仕事にすること。自分らしく、なおかつ人から喜ばれることをやっていこうと思ったら、三児の魂に根差せばいいんです。

起業がしたいけれどお金がないという人がいますが、お金を使わなくても起業はできます。お金があると、お金で解決しようとする。だから、人に頭を下げることもなく、知恵も出さない。お金を稼ぐ能力と考える知恵そして、人脈が大事。お店が出せないというならば、小さなできる範囲から始めることが大切です。



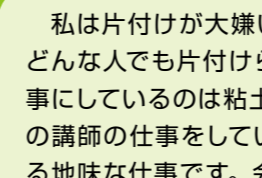
(一社) 起業支援ネットワークNICe 代表理事 増田 紀彦さん

成功のヒントとは?



粘土作家 辻本 京子さん

小さいころから物を作るのが好きでした。下の子が幼稚園に入ったころ、本屋で見かけた「粘土でミニチュアフード作り」の本で粘土細工の楽しさを知りました。オリジナルの作品を作り、委託販売店やオンラインショップ、イベントなどで販売するようになりました。うまくいかない時期もありましたが、お客様のニーズにも応えながら、自分の作風を大切に作品づくりを続けています。



整理収納アドバイザー 塚本 英代さん

私は片付けが大嫌いでしたが整理収納の勉強をしてみて、順番を追っていけばどんな人でも片付けられると分かりました。それが面白いです。苦手なことを仕事にしているのは粘土作家の辻本さんとは逆ですね。今は片付け作業や整理収納の講師の仕事をしています。簡単そうに見られますが、事前の準備や手間がかかる地味な仕事です。会社に所属するのではなく個人で仕事をするのは責任も伴いますが、やり遂げた時の喜びはひとしおです。



大社長という方々ではないですけども、自分の幸せを自分の責任でつかんで切り開いていく、素晴らしいです。苦勞自体が喜びのもとだったりします。それが起業のおもしろいところ。うまくいかないのも自分のせいだし、うまくいくのも自分のおかげなんです。自分の能力とお客さんの思いが一致する。それがお金になるということ。自分らしくてちょっとドキドキもするけれど、いい日々が送れるということがわかりますね。

「女性活躍推進法」が施行されました

女性活躍推進法は、自分の意思で働いている、または働きたいと望む女性が、いきいきと働き活躍することができる社会を実現するための法律です。

法の基本原則

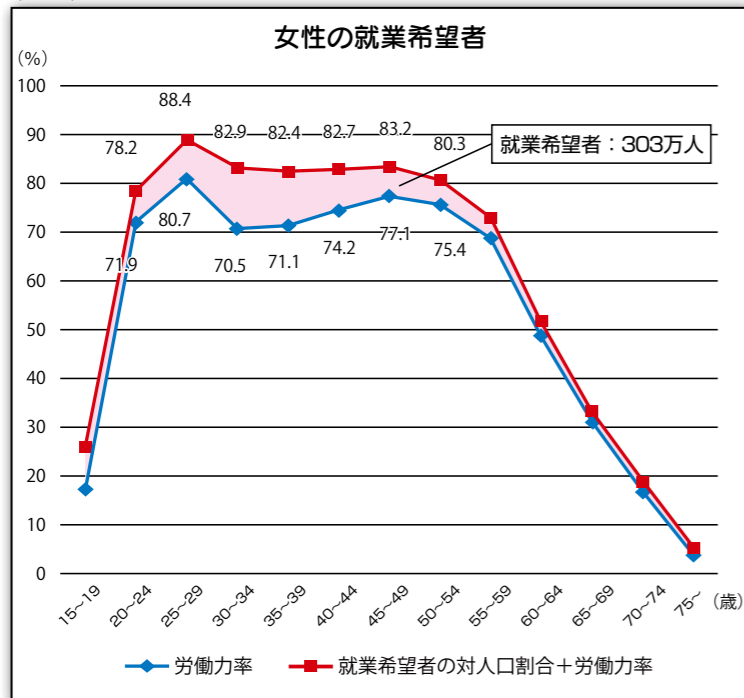
- ・女性に対する採用、昇進等の機会の積極的な提供・活用と、性別による固定的役割分担等を反映した職場慣行の影響への配慮が行われること
- ・必要な環境整備により、職業生活と家庭生活の円滑かつ継続的な両立を可能にすること
- ・本人の意思が尊重されること

女性活躍推進法がどうしても必要なのでしょうか？

女性の就業率は年々増加していますが、働きたいと希望しているのに働くことができない女性は約300万人に上っています。出産・育児期にあたる20歳代後半から30歳代で労働力率が落ち込んでいますが、働きたいと希望している女性が多いことがわかります。(図1)

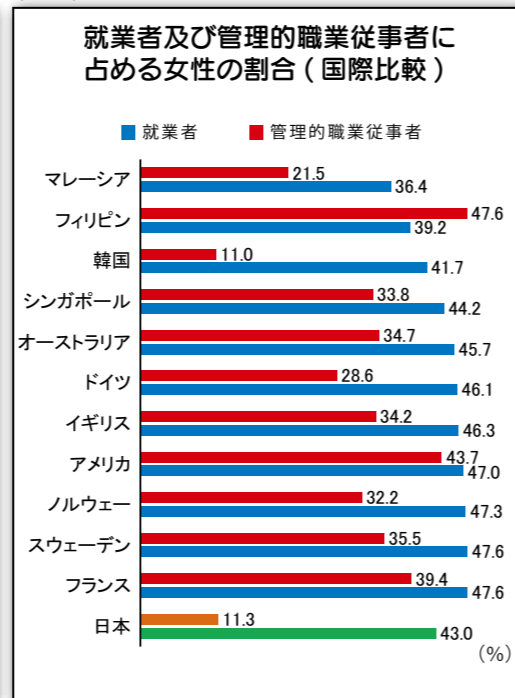
また、職場での女性の管理的職業従事者の割合が、諸外国に比べて低い水準にあり(図2)、職場における女性の活躍は不十分な状況にあります。こうしたことから、女性の力を十分に発揮することができる環境づくりが急務になっていきます。

(図1)



(備考) 1 総務省「労働力調査(詳細集計)」(平成26年)より作成。
2 15歳以上人口に占める就業希望者の割合。
3 「自営業主」には内職者を含む。

(図2)



(備考) 1 総務省「労働力調査(基本集計)」(平成26年)独立行政法人労働政策研究・研究機構「データブック国際労働比較2014」より作成。
2 日本は平成26年、その他の国は2012(平成24年)の値。
3 総務省「労働力調査委」では「管理的職業従事者」とは就業者のうち、会社役員、企業の課長相当職以上、管理的公務員等をいう。また「管理的職業従事者」の定義は国によって違う。

女性活躍推進法では、女性の活躍の場の提供主体である事業主に対して、女性の活躍に関する状況の把握や課題の分析、行動計画の策定、情報公表の義務付け等を規定し、事業所が積極的に取り組むよう働きかけています。事業主に求められる取組について、詳しくは厚生労働省サイト内 女性活躍推進特集ページ

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000091025.html> をご覧ください。

「女性活躍推進法」により女性が活躍できる場を充実させることは、女性だけでなく男性も仕事と生活を両立することができ、すべての人が暮らしやすい、豊かで活力のある社会の実現につながるものと期待されます。

起業支援に長く携わってきましたが、今も昔も必ず投げかけられる質問が三つあります。

一つ目は「どんな商売が儲かりますか?」。これには間髪入れず「あなたの得意なことをすれば儲かる」と答えています。たいていの質問者は怪訝な顔つきになります。農業が儲かるとか、介護ビジネスが儲かるとか、そういう回答を期待してのことでしょうか。確かに成長期にある事業分野は総体として高い数字を生み出します。しかしその傾向が一人一人に当てはまるかといえば、そうではありません。人には得手不得手もあれば、向き不向きもあります。

さて、ここから面白い話です。上記の質問を私にぶつけるのは、決まって男性です。男性は自己の外的環境に応じて行動を選択しようとする傾向が強いようです。反対に女性は概して内発的。自己認識が男性より進んでおり、物事を選択基準も揺るぎなく築いている。だから、世間がその仕事を儲かると言おうが言うまいが関係なく、自分がいいと思ったら絶大な力を発揮することができます。風呂敷を広げるばかりで、実際にはなかなか前に踏み出せない男性からすると、女性起業家の行動力は羨ましい限りです。

よくある質問の二つ目は、「どういう人が起業家に向くのか」です。こちらは一転、女性に多い質問です。男性が「業種」に関心があるのに対し、女性は「人種(人のタイプ)」に関心があるようです。何となく、わかります。さて、この質問に対しては、「成功するまで続ける人が成功する」といつも答えるのですが、皆さんどうも納得されない様子。そこで「言い方を換えれば、すぐに成果が出なくてもくさらず、長く取り組み続けられるテーマを持っている人が成功する」と言うと、多くの女性が頷きます。

世間では、起業家として成功するのは、ごく一部の特殊な能力を持つ人、そんなふうには捉えられているかもしれません。ですがこの認識は事実と異なります。そもそも大儲けをする人だけを起業家と呼ぶわけではありません。儲けの大小では

なく、自分が生まれもって授かった能力やセンスを、雇用ではなく、直接お客様に提供して対価を得る生き方を選んだ人、すべてを起業家と呼ぶのです。

人は誰しも、好きなこと、得意なこと、夢中になれることを持っています。「取り組み続けられるテーマ」とは、その延長にある事柄です。であれば、誰でも起業はできるし、自分に見合った成功を手に入れることもできるはず。ちなみに1950年頃までの日本では、雇用されて働く人よりも自営で働く人のほうが多かったのです。「日本人は独立に不向き」などという説には根拠がありません。

三つ目は失敗に関する質問です。これはもう、男女問わずの関心事。先に書いておきますと、失敗しない方法などありません。それどころか、私は「起業すれば必ず失敗を経験することになる」と言い切っています。どんな高名な経営者も間違いなく痛い目に遭っています。それも一度や二度のことではないはず。むしろ、その人たちが功成名就を遂げたのは、失敗を通じてビジネスを営む上での大切なことを体得してきたからだだと思います。

雇われていると、失敗がマイナスポイントになってしまうことが多いかもしれません。ところが起業家にとっての失敗は、「こうすると良い結果が出ない」というハウツーの獲得につながるのです。そしてまた、厳しい事態に向き合い、逃げず、それを乗り越えようと努力する経験は、人間としての力を涵養します。

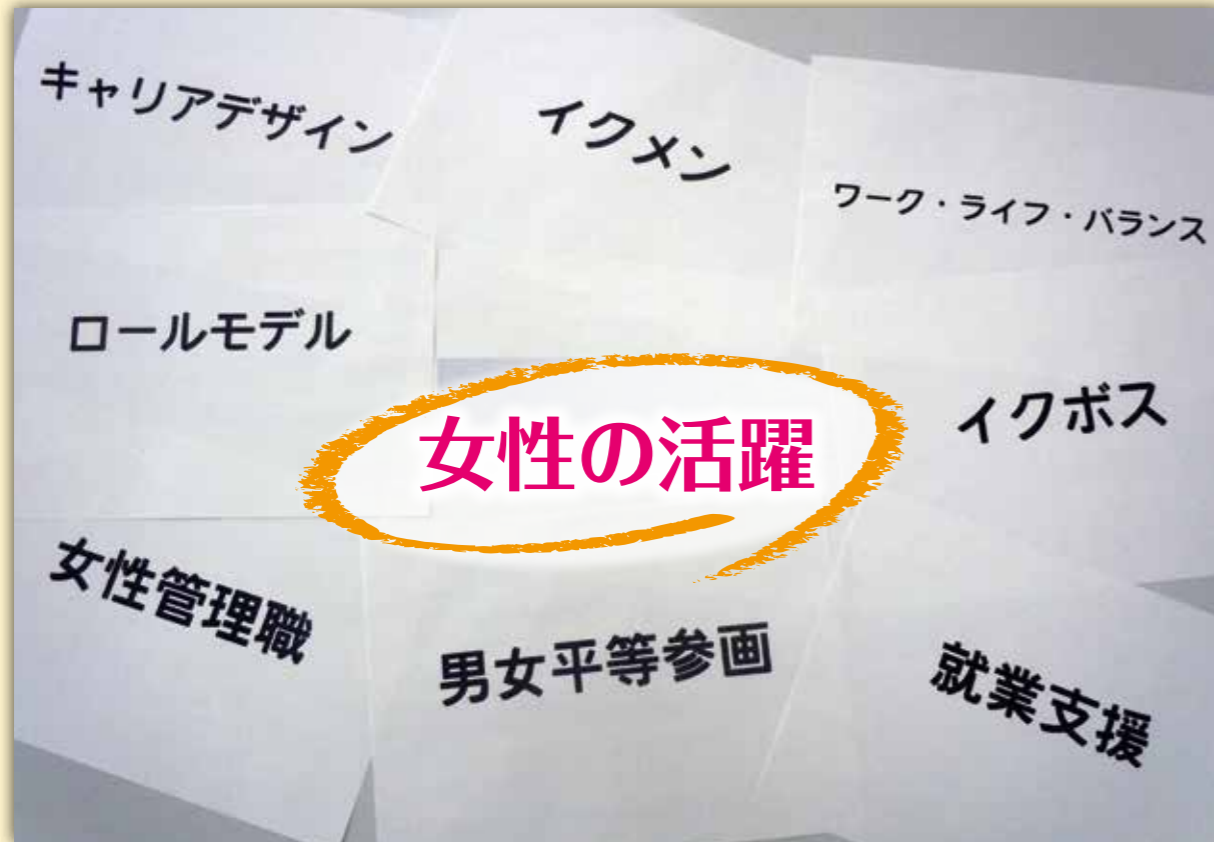
換言すると、起業家とは、永遠に人間としての成長を追い求めることができる生き方かもしれません。「ピンチはチャンス」という言葉があります。きっといろいろな解釈があるのですが、私は「ピンチは(成長)のチャンス」だと考えています。人間にとっての何よりの幸せは、命ある限り成長していけることではないでしょうか。その幸せを手に入れるための方法として、私は人々に起業を勧めています。

起業に関してのお問合せは.....

名称	内容	連絡先
(公財) 茨城県中小企業振興公社 ・茨城県よろず支援拠点 ・茨城県中小企業支援センターベンチャープラザ	・総合相談窓口 ・中小企業、小規模事業者の経営相談 ・専門家を配置し、創業を含む様々な相談に対応	水戸市桜川2-2-35 茨城県産業会館9階 029(224)5339
茨城県信用保証協会	・創業相談 ・アフターフォロー ・創業計画作成サポート ・創業資金借入れサポート	水戸市桜川2-2-35 茨城県産業会館6階 029(224)7812
(一社) 茨城県中小企業診断士協会	・経営、創業無料相談会の開催 ・創業、起業セミナーの開催	石岡市国府1-2-5 0299(56)4301
日本政策金融公庫 国民生活事業 水戸支店	・創業相談(融資) ・創業セミナーの開催	水戸市南町3-3-55 029(221)7137
水戸商工会議所	・事業計画作成支援 ・融資、補助金申請支援 ・創業セミナーの開催	水戸市桜川2-2-35 茨城県産業会館3階 029(224)3315
(一財) 水戸市商業・駐車場公社	・みと創業支援塾の開催 ・コワーキングスペース水戸について	水戸市赤塚1-1ミオス1F 029(257)6656
水戸市商工課	・空き店舗へ出店する際の改装費一部助成	水戸市三の丸1-5-48 三の丸臨時庁舎3階 029(232)9185

ひびよんど Beyond gender

2016.3 VOL.39



特集 女性のための就業支援 ～起業編～ ……4・5・6

- ・ヒューマンライフシンポジウム2015 ……2
- ・平成27年度男女平等参画推進月間写真コンテスト・男女平等参画社会づくり功労賞 ……3
- ・女性の職業生活における活躍の推進に関する法律「女性活躍推進法」が施行されました ……7
- ・さんかくデータ ……8

男女共同参画都市宣言

美しい自然に恵まれ豊かな歴史を育んできた、わたしたちのまち水戸
わたしたちは、水戸のまちをさらに輝きあふれる明日へとつなぐため、「平等・創造・平和」を基本理念とし、男女がともにわがまち、ともにつくる社会の実現に向け、水戸市を「男女共同参画都市」とすることを宣言します。

- 1 わたしたちは、ともに一人ひとりが尊重しあい、平等のもとに生き生きと暮らせるまち水戸をつくりまします。
- 1 わたしたちは、ともに自らの意思で社会のあらゆる分野に参画し、次の世代へとつなぐ豊かでゆとりのあるまち水戸をつくりまします。
- 1 わたしたちは、ともに地球環境を守り、世界へ向けて、友情と平和の輪を広げるまち水戸をつくりまします。

平成8年4月1日

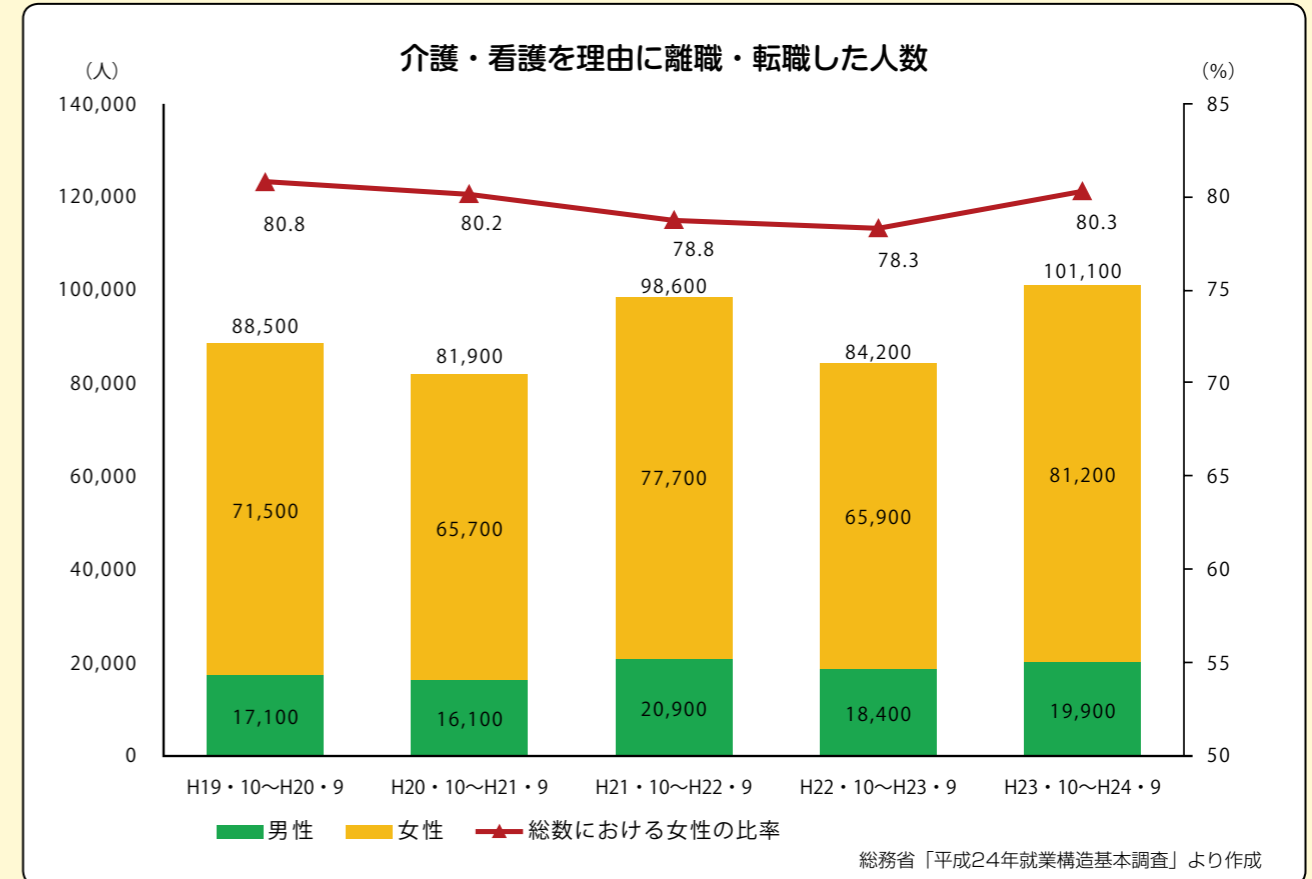
水戸市

※誌名「ひびよんど」は1997年、公募により命名されました。Beyond gender(性差を超えて)の思いが込められています。ジェンダーとは、社会的性別のことです。

さんかく データ

仕事と介護の両立

「介護離職」という言葉を聞いたことがありますか？親や家族など身近な人の介護のために、現在の仕事を辞めることを言います。仕事と介護を両立することは難しく、働き盛りと言われる世代（40～50代）の労働者が、退職するというケースが多いため、企業の損失も大きく、また退職してからの生活が困難になるケースもあることから、社会問題化しています。



上のグラフによると、平成23年10月～平成24年9月の1年間で介護・看護を理由に離職・転職した人の数は、10万人を超えています。男女別で見ると、女性の離職・転職者の割合は、全体の約8割（80.3%）を占めており、男性の約4倍になっています。未だ女性が介護の担い手として大きな役割を果たしていると言えます。そこで、国（厚生労働省）では、育児・介護休業法に定められた、介護休暇制度などの周知徹底を図り、企業及び労働者の課題を把握し、介護を行っている労働者の就業継続を促進しています。

男女平等参画社会推進のために・・・

■男女平等参画推進委員会

男女平等参画社会の推進のために設置された、市民・事業者・学識経験者から構成される委員会です。総合的な施策と重要事項を調査審議します。

■男女平等参画苦情処理委員会

男女平等参画に関する苦情の申し出を、公平・中立な立場に立って調査し、解決を図っていきます。詳細は、水戸市男女平等参画課までお問い合わせください。

編集後記

暖かかったお正月。このまま春になるのかしらと思っていたら、やはり冬はやって来るのですね。それでも梅のつぼみも着実に大きくなり、私たちはまた年度の終わりを迎えようとしています。冬の間に体についた余分なものを落としながら、仕事とプライベートともに充実させて新年度もがんばりたいと思います。(Y)

発行日/平成28年3月

発行/水戸市 編集/男女平等参画課
〒310-0063 水戸市五軒町1丁目2番12号
みと文化交流プラザ5F

TEL 029-226-3161 FAX 029-226-3162

ホームページ/ <http://www.city.mito.lg.jp>

印刷/関東印刷株式会社